

大成建設グループと幸手市が「包括連携協定」を締結 ～次世代技術研究所「T-FIELD/SATTE」を起点に地域共創を推進～

2026年2月17日

大成建設株式会社

大成ロテック株式会社

大成建設株式会社（社長：相川善郎）および大成ロテック株式会社（社長：加賀田健司）は、埼玉県幸手市（市長：木村純夫）と、2026年2月17日に包括連携協定を締結しました。本協定は、大成建設グループ次世代技術研究所「T-FIELD/SATTE」^{*1}を起点として、環境・教育分野をはじめとする幅広い分野で連携・協力を推進するものです。

「T-FIELD/SATTE」は、日本初のゼロカーボンビルを核とし、建設・道路分野の脱炭素化を加速する研究・実証拠点として2026年2月16日に本格運用を開始しました。研究所の建設決定以降、当社グループは幸手市と連携し、市内の児童のみなさんが参加する植樹活動や地域連携ワークショップなどを実施してきました。こうした取り組みを基盤として、本協定の締結により、地域の持続可能な発展に資する包括的な連携体制を構築・促進してまいります。

【連携内容】

- (1) まちづくりに関すること。
- (2) 環境に関すること。
- (3) 防災に関すること。
- (4) 学校教育・生涯学習の推進に関すること。
- (5) シティプロモーションに関すること。
- (6) その他、協定の目的を達成するために必要な事項に関すること。

今後当社グループは、「T-FIELD/SATTE」で培う脱炭素技術や環境配慮型材料の知見を活かし、幸手市との連携を通じて地域課題の解決に取り組みます。ゼロカーボンビルの評価指標「T-ZCB」^{*2}に基づく技術提案や実証成果を地域社会へ還元し、持続可能で安全・安心なまちづくりに貢献してまいります。

※1 大成建設グループ次世代技術研究所「T-FIELD/SATTE」：以下、大成建設株式会社特設サイト



※2 T-ZCB (Taisei Zero Carbon Building) :

建築物のライフサイクル全体（調達・施工・運用・修繕・解体）におけるCO₂排出量と削減効果を可視化し、ゼロカーボン化を体系的に評価する大成建設独自のシステム。

https://www.taisei.co.jp/about_us/wn/2022/220909_8933.html

お問い合わせ先：大成建設株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 広報室

TEL:03-5381-5011 (ダイヤルイン)



写真：2026年2月17日包括連携協定式

左) 大成建設口テック株式会社代表取締役社長・加賀田健司
中央) 幸手市長・木村純夫
右) 大成建設株式会社常務執行役員技術センター長・長島一郎

本件に関するお問い合わせ先

大成建設株式会社 管理本部 コーポレート・コミュニケーション部 広報室
TEL:03-5381-5011

大成口テック株式会社 管理本部 広報部 広報室
TEL:03-5925-9431

幸手市 総合政策部 政策課 政策担当
TEL:0480-43-1111